

宮城県農業土木工事施工管理基準
新旧対照表

平成29年10月

宮城県農林水産部

改正後	現 行
<p data-bbox="185 284 801 359">第 1 項 宮城県農業土木施工管理基準及び 宮城県農業土木施工管理基準実施要領</p> <p data-bbox="434 438 855 467">宮城県農業土木工事施工管理基準</p> <p data-bbox="185 523 689 547">1. 目 的 ～ 3. 施工管理の基本構成 【略】</p> <p data-bbox="185 579 432 632">4. 施工管理の実施 (1) ～ (8) 【略】</p> <p data-bbox="185 663 591 716">5. 検査（完成・既済部分）時の提出内容 (1) 【略】</p> <p data-bbox="185 748 465 801">6. その他 (1) ～ (2) 【略】</p> <p data-bbox="215 801 1093 853"><u>(3) 施工管理に当たっては、「土木工事施工管理基準の手引き」(平成19年3月30日付け18農振第2123号農村振興局整備部長通知)を参考にするものとする。</u></p> <p data-bbox="185 885 409 909">7. 用語の定義 【略】</p> <p data-bbox="378 1021 911 1050">宮城県農業土木工事施工管理基準実施要領</p> <p data-bbox="600 1106 645 1129">【略】</p>	<p data-bbox="1131 284 1747 359">第 1 項 宮城県農業土木施工管理基準及び 宮城県農業土木施工管理基準実施要領</p> <p data-bbox="1375 438 1796 467">宮城県農業土木工事施工管理基準</p> <p data-bbox="1131 523 1632 547">1. 目 的 ～ 3. 施工管理の基本構成 【略】</p> <p data-bbox="1131 579 1377 632">4. 施工管理の実施 (1) ～ (8) 【略】</p> <p data-bbox="1160 691 1294 715">(9) 【略】</p> <p data-bbox="1160 774 1406 826">(10) ～ (11) 【略】 【新設】</p> <p data-bbox="1131 885 1355 909">5. 用語の定義 【略】</p> <p data-bbox="1319 1010 1852 1038">宮城県農業土木工事施工管理基準実施要領</p> <p data-bbox="1541 1094 1585 1118">【略】</p>

改正後

現 行

第2項 直接測定による出来形管理

第2項 直接測定による出来形管理

1 共通工事 ～ 7 農道工事 【略】

1 共通工事 ～ 7 農道工事 【略】

8 水路工事

8 水路工事

開水路（現場打ち）～ 管水路（遠心力鉄筋コンクリート管）RC管 【略】

工 種	項 目	管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測 定 基 準
8 水 路 工 事 (強化プラスチック 複合管 B形、T形 C形 【削る。】	管水路 (ダクタイル鋳 鉄管) K形 T形 U形	基準高(V)	[略]	[略]
	中心線の ズレ(e)	[略]	[略]	
	ジョイント 間隔(z)	[略]	[略]	
	施工延長	[略]	[略]	

工 種	項 目	管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測 定 基 準
8 水 路 工 事 (強化プラスチック 複合管 B形、T形 C形 D形	管水路 (ダクタイル鋳 鉄管) K形 T形 U形	基準高(V)	[略]	[略]
	中心線の ズレ(e)	[略]	[略]	
	ジョイント 間隔(z)	[略]	[略]	
	施工延長	[略]	[略]	

管理方式			測定箇所標準図	摘 要
管理図表によるもの(様式2-1、2-2、3-4)	結果一覧表によるもの(様式3-1、3-4)	構造図に朱記、併記するもの		
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

管理方式			測定箇所標準図	摘 要
管理図表によるもの(様式2-1、2-2、3-4)	結果一覧表によるもの(様式3-1、3-4)	構造図に朱記、併記するもの		
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

開水路（硬質塩化ビニル管）～ ジョイントコート 【略】

開水路（硬質塩化ビニル管）～ ジョイントコート 【略】

改正後

現行

工 種	項 目	管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測 定 基 準	
8 水 路 工 事	管水路 (埋設とラジ管) ダクタイル鋳鉄管 鋼管 強化プラスチック管	管種等の適用範囲は原則として下記による。 管 種 J I S G5526(ダクタイル鋳鉄管) J D P A G1027(農業用水用ダクタイル鋳鉄管) J I S G3443-1(水輸送用塗覆装鋼管-第1部:直管) W S P A-101(農業用プラスチック被覆鋼管) J I S A5350(強化プラスチック複合管) F R P M <u>K111-2016</u> (強化プラスチック複合管内圧管 ファイバートライディング®成形法) [削る.]			
	たわみ率				
	締 固 め 程 度	なし I I 礫質土 II	[略] [略] [略] [略]	[略] [略] [略] [略]	

工 種	項 目	管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測 定 基 準	
8 水 路 工 事	管水路 (埋設とラジ管) ダクタイル鋳鉄管 鋼管 強化プラスチック管	管種等の適用範囲は原則として下記による。 管 種 J I S G5526(ダクタイル鋳鉄管) J D P A G1027(農業用水用ダクタイル鋳鉄管) J I S G3443-1(水輸送用塗覆装鋼管-第1部:直管) W S P A-101(農業用プラスチック被覆鋼管) J I S A5350(強化プラスチック複合管) F R P M <u>K1111-2006</u> (強化プラスチック複合管内圧管 ファイバートライディング®成形法) <u>F R P M K2111-2006 (強化プラスチック複合管内圧管 遠心力成形法)</u>			
	たわみ率				
	締 固 め 程 度	なし I I 礫質土 II	[略] [略] [略] [略]	[略] [略] [略] [略]	

管理方式			測定箇所標準図	摘 要
管理図表によるもの(様式3-5)	結果一覧表によるもの(様式3-5)	構造図に朱記、併記するもの		
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

管理方式			測定箇所標準図	摘 要
管理図表によるもの(様式3-5)	結果一覧表によるもの(様式3-5)	構造図に朱記、併記するもの		
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

管水路基礎(砂基礎等) ~ ボックスカルバート水路 【略】

管水路基礎(砂基礎等) ~ ボックスカルバート水路 【略】

改正後

9 河川護岸工事 ～ 14 ため池工事 【略】

別表ア ～ ウ 【略】

別表エ 管路（強化プラスチック複合管）ジョイント間隔管理基準値

(単位：mm)

規格	JIS A 5350				
	B形、C形及びT形				
	呼び径 (mm)	標準値	管理基準値	(参考) 規格値	
良質地盤				軟弱地盤	
200	0	+10	0	+33	0
250	0	+10	0	+33	0
300	0	+10	0	+38	0
350	0	+10	0	+38	0
400	0	+10	0	+43	0
450	0	+10	0	+43	0
500	0	+15	0	+53	0
600	0	+15	0	+53	0
700	0	+15	0	+53	0
800	0	+15	0	+53	0
900	0	+15	0	+53	0
1,000	0	+20	0	+53	0
1,100	0	+20	0	+53	0
1,200	0	+20	0	+53	0
1,350	0	+20	0	+53	0
1,500	0	+20	0	+53	0
1,650	0	+25	0	+80	0
1,800	0	+25	0	+80	0
2,000	0	+25	0	+95	0
2,200	0	+25	0	+95	0
2,400	0	+25	0	+113	0
2,600	0	+25	0	+113	0
2,800	0	+25	0	+128	0
3,000	0	+25	0	+128	0

注) 1 ～ 4 【略】

5. 継手部の標準断面は次ページのとおりであり、標準値は図の寸法yである。なお、基準線に対し抜け出し側を(+)とする。

【削る】

6. 測定値は、受口部長さの製品誤差によりマイナスとなる場合がある。

現行

9 河川護岸工事 ～ 14 ため池工事 【略】

別表ア ～ ウ 【略】

別表エ 管路（強化プラスチック複合管）ジョイント間隔管理基準値

(単位：mm)

規格	JIS A 5350				
	B形及びT形				
	呼び径 (mm)	標準値	管理基準値	(参考) 規格値	
良質地盤				軟弱地盤	
200	0	+10	-5(0)	+33	-33(0)
250	0	+10	-5(0)	+33	-33(0)
300	0	+10	-5(0)	+38	-38(0)
350	0	+10	-5(0)	+38	-38(0)
400	0	+10	-5(0)	+43	-43(0)
450	0	+10	-5(0)	+43	-43(0)
500	0	+15	-10(0)	+53	-52(0)
600	0	+15	-10(0)	+53	-52(0)
700	0	+15	-10(0)	+53	-52(0)
800	0	+15	-10(0)	+53	-52(0)
900	0	+15	-10(0)	+53	-52(0)
1,000	0	+20	-15(0)	+53	-51(0)
1,100	0	+20	-15(0)	+53	-51(0)
1,200	0	+20	-15(0)	+53	-51(0)
1,350	0	+20	-15(0)	+53	-51(0)
1,500	0	+20	-15(0)	+53	-51(0)
1,650	0	+25	-20(0)	+80	-77(0)
1,800	0	+25	-20(0)	+80	-77(0)
2,000	0	+25	-20(0)	+95	-92(0)
2,200	0	+25	-20(0)	+95	-92(0)
2,400	0	+25	-20(0)	+113	-110(0)
2,600	0	+25	-20(0)	+113	-110(0)
2,800	0	+25	-20(0)	+128	-125(0)
3,000	0	+25	-20(0)	+128	-125(0)

注) 1 ～ 4 【略】

5. 継手部の標準断面は次ページのとおりであり、標準値は図の寸法yである。なお、基準線に対し抜け出し側を(+)、入り込み側を(-)とする。また、管理基準値等のうち()内数値は、点線で示した形状の管に適用する。

6. D形の場合は、受口側と挿口側を各々測定する。

【新設】

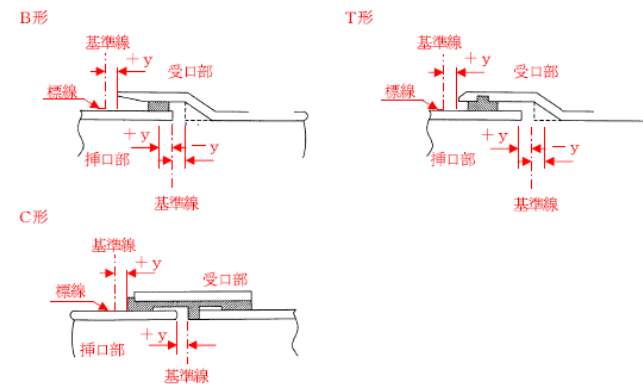
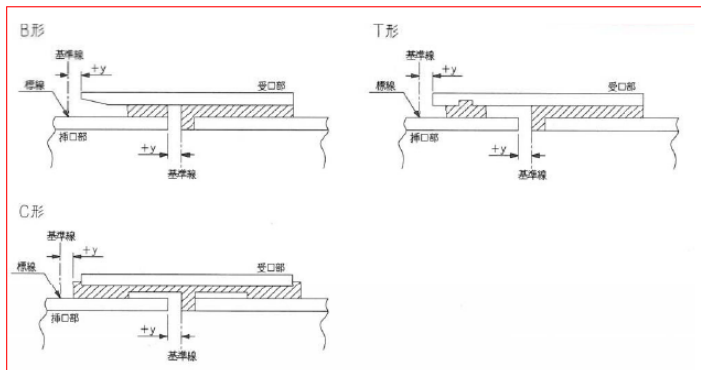
改正後

現行

(単位：mm)

【削る】

規格	JIS A 5350				
	C形				
	標準値	管理基準値	(参考)規格値		
良質地盤			軟弱地盤		
200	0	+10	0	+33	0
250	0	+10	0	+33	0
300	0	+10	0	+38	0
350	0	+10	0	+38	0
400	0	+10	0	+43	0
450	0	+10	0	+43	0
500	0	+15	0	+53	0
600	0	+15	0	+53	0
700	0	+15	0	+53	0
800	0	+15	0	+53	0
900	0	+15	0	+53	0
1,000	0	+20	0	+53	0
1,100	0	+20	0	+53	0
1,200	0	+20	0	+53	0
1,350	0	+20	0	+53	0
1,500	0	+20	0	+53	0
1,650	0	+25	0	+80	0
1,800	0	+25	0	+80	0
2,000	0	+25	0	+95	0
2,200	0	+25	0	+95	0
2,400	0	+25	0	+113	0
2,600	—	—	—	—	—
2,800	—	—	—	—	—
3,000	—	—	—	—	—



改正後

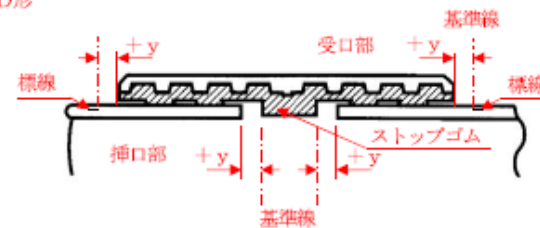
現 行

【削る】

(単位：mm)

規 格	J I S A 5350						
	D 形(S60)						
	標準値	管 理 基 準 値		(参 考) 規 格 値			
良 質 地 盤				軟 弱 地 盤			
呼び径 (mm)							
200	0	+ 5	0	+25	- 3	+15	- 3
250	0	+ 5	0	+25	- 3	+15	- 3
300	0	+ 5	0	+25	- 3	+15	- 3
350	0	+ 5	0	+25	- 3	+15	- 3
400	0	+ 5	0	+35	- 3	+25	- 3
450	0	+ 5	0	+35	- 3	+25	- 3
500	0	+15	0	+35	- 3	+25	- 3
600	0	+15	0	+35	- 3	+25	- 3
700	0	+15	0	+35	- 3	+25	- 3
800	0	+20	0	+40	- 5	+30	- 5
900	0	+20	0	+40	- 5	+30	- 5
1,000	0	+20	0	+40	- 5	+30	- 5
1,100	0	+20	0	+40	- 5	+30	- 5
1,200	0	+20	0	+40	- 5	+30	- 5
1,350	0	+20	0	+40	- 5	+30	- 5
1,500	0	+25	0	+45	- 5	+35	- 5
1,650	0	+25	0	+45	- 5	+35	- 5
1,800	0	+25	0	+45	- 5	+35	- 5
2,000	0	+25	0	+45	- 5	+35	- 5
2,200	0	+30	0	+50	- 5	+40	- 5
2,400	0	+30	0	+50	- 5	+40	- 5

D形



※管がストップゴムをつぶしている場合は(-)とする。なお、その場合受口側の値を0とする。

別表オ ～ カ 【略】

別表オ ～ カ 【略】

改正後

現 行

第3項 撮影記録による出来形管理 【略】

第3項 撮影記録による出来形管理 【略】

第4項 品質管理

第4項 品質管理

1 コンクリート関係 ～ 5 プレキャストコンクリート製品及び鋼材関係 【略】

1 コンクリート関係 ～ 5 プレキャストコンクリート製品及び鋼材関係 【略】

6 その他の二次製品

6 その他の二次製品

	種類	規 格	試験方法	標準ロット数
鑄鉄管	ダクタイル鑄鉄管	[略]	[略]	φ 75～ <u>300</u> 200本 φ <u>350</u> ～ 600 100本
	ダクタイル鑄鉄異形管	[略]	[略]	φ 700～1,000 <u>50</u> 本 φ 1,100～ <u>2,600</u> <u>25</u> 本 [削る。]
	ダクタイル鑄鉄直管	[略]	[略]	
	ダクタイル鑄鉄異形管 ダクタイル鑄鉄管継手 (農業用水用)	[略]	[略]	

	種類	規 格	試験方法	標準ロット数
鑄鉄管	ダクタイル鑄鉄管	[略]	[略]	φ 75～ <u>250</u> 200本 φ <u>300</u> ～ 600 100本
	ダクタイル鑄鉄異形管	[略]	[略]	φ 700～1,000 <u>60</u> 本 φ 1,100～ <u>1,500</u> <u>40</u> 本 <u>φ 1,600～2,600 30本</u>
	ダクタイル鑄鉄直管	[略]	[略]	
	ダクタイル鑄鉄異形管 ダクタイル鑄鉄管継手 (農業用水用)	[略]	[略]	

試験(測定)基準	管 理 方 法	処 置
[略]	[略]	[略]

試験(測定)基準	管 理 方 法	処 置
[略]	[略]	[略]

塩化ビニル管 ～ ポリエチレン管 【略】

塩化ビニル管 ～ ポリエチレン管 【略】

改正後

現行

[品質管理参考資料]

[品質管理参考資料]

1 管水路の通水試験 ～ 8 レディミクストコンクリート単位水量測定要領（案）

1 管水路の通水試験 ～ 8 レディミクストコンクリート単位水量測定要領（案）

【略】

【略】

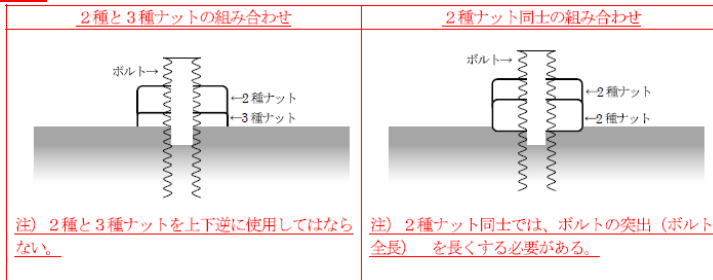
9 ダブルナット（アンカーボルト）の施工について

【新設】

(1) ダブルナットは、振動に対する緩み止めとして、二つのナットを使用してロックする一般的な方法である。

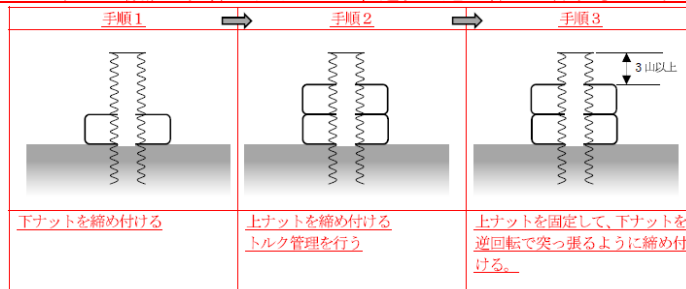
(2) ナットには、1種（片面取り形）、2種（両面取り形）、及び3種（両面取りの薄形）があり、ダブルナットでは2種又は3種ナットを組み合わせて使用する。

(3) ナットの組み合わせは下図のとおりであり、2種ナットどうしの組み合わせを採用する例が多い。



(4) ダブルナットでは、軸力を受けるのは上ナットになることから、上ナットのトルク管理をしっかり行い締め付けるものとする。なお、3種ナット（厚さが薄いナット）を上ナットに使用してはならない。

(5) ナットの締め付けは、次の手順で行わなければならない。特に手順3の作業を行わなければダブルナットの機能が発揮されないので、適切に施工管理を行うものとする。



(6) 上ナットのボルト先端は、ナットの外に3山以上出るようにしなければならない。

改正後

現行

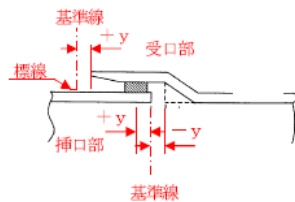
10 管水路（強化プラスチック複合管）ジョイント間隔管理基準値

強化プラスチック複合管について、現在生産中止となっている配管材に係るジョイント間隔管理基準値を以下に示すので、機能診断業務等の参考にされたい。

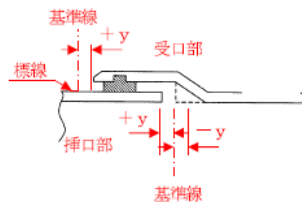
(単位：mm)

規格 呼び径 (mm)	JIS A 5350				
	B形及びT形				
	標準値	管理基準値	(参考)規格値		
良質地盤			軟弱地盤		
200	0	+10 - 5(0)	+33 - 33(0)	+22 - 22(0)	
250	0	+10 - 5(0)	+33 - 33(0)	+22 - 22(0)	
300	0	+10 - 5(0)	+38 - 38(0)	+25 - 25(0)	
350	0	+10 - 5(0)	+38 - 38(0)	+25 - 25(0)	
400	0	+10 - 5(0)	+43 - 43(0)	+28 - 28(0)	
450	0	+10 - 5(0)	+43 - 43(0)	+28 - 28(0)	
500	0	+15 - 10(0)	+53 - 52(0)	+35 - 34(0)	
600	0	+15 - 10(0)	+53 - 52(0)	+35 - 34(0)	
700	0	+15 - 10(0)	+53 - 52(0)	+35 - 34(0)	
800	0	+15 - 10(0)	+53 - 52(0)	+35 - 34(0)	
900	0	+15 - 10(0)	+53 - 52(0)	+35 - 34(0)	
1,000	0	+20 - 15(0)	+53 - 51(0)	+35 - 33(0)	
1,100	0	+20 - 15(0)	+53 - 51(0)	+35 - 33(0)	
1,200	0	+20 - 15(0)	+53 - 51(0)	+35 - 33(0)	
1,350	0	+20 - 15(0)	+53 - 51(0)	+35 - 33(0)	
1,500	0	+20 - 15(0)	+53 - 51(0)	+35 - 33(0)	
1,650	0	+25 - 20(0)	+80 - 77(0)	+53 - 50(0)	
1,800	0	+25 - 20(0)	+80 - 77(0)	+53 - 50(0)	
2,000	0	+25 - 20(0)	+95 - 92(0)	+63 - 60(0)	
2,200	0	+25 - 20(0)	+95 - 92(0)	+63 - 60(0)	
2,400	0	+25 - 20(0)	+113 - 110(0)	+75 - 72(0)	
2,600	0	+25 - 20(0)	+113 - 110(0)	+75 - 72(0)	
2,800	0	+25 - 20(0)	+128 - 125(0)	+85 - 82(0)	
3,000	0	+25 - 20(0)	+128 - 125(0)	+85 - 82(0)	

B形



T形

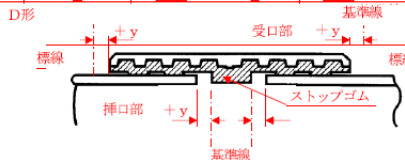


改正後

現行

(単位：mm)

規格 呼び径 (mm)	JIS A 5350						
	D形						
	標準値	管理基準値	(参考)規格値				
良質地盤			軟弱地盤				
200	0	+5	0	+25	-3	+15	-3
250	0	+5	0	+25	-3	+15	-3
300	0	+5	0	+25	-3	+15	-3
350	0	+5	0	+25	-3	+15	-3
400	0	+5	0	+35	-3	+25	-3
450	0	+5	0	+35	-3	+25	-3
500	0	+15	0	+35	-3	+25	-3
600	0	+15	0	+35	-3	+25	-3
700	0	+15	0	+35	-3	+25	-3
800	0	+20	0	+40	-5	+30	-5
900	0	+20	0	+40	-5	+30	-5
1,000	0	+20	0	+40	-5	+30	-5
1,100	0	+20	0	+40	-5	+30	-5
1,200	0	+20	0	+40	-5	+30	-5
1,350	0	+20	0	+40	-5	+30	-5
1,500	0	+25	0	+45	-5	+35	-5
1,650	0	+25	0	+45	-5	+35	-5
1,800	0	+25	0	+45	-5	+35	-5
2,000	0	+25	0	+45	-5	+35	-5
2,200	0	+30	0	+50	-5	+40	-5
2,400	0	+30	0	+50	-5	+40	-5



- ※管がストップゴムをつぶしている場合は(-)とする。なお、その場合受口側の値を0とする。
- 注) 1.管理基準値は接合時の値であり、4箇所(の平均値)とする。
 2.(参考)規格値は埋戻し後の値であり、原則として4箇所(のうち1箇所)でもこの値を超えてはならない。
 3.測定は、原則として管の内から測定するものとする。ただし、呼び径700mm以下(の場合)は、管の外から確認してもよい。また、埋戻し後の測定は、原則として呼び径800mm以上(に適用する)。
 なお、「埋戻し後」とは、特に指示がない限り、舗装(表層、上層路盤、下層路盤)を除いた埋戻し完了時点とする。
 4.管の外から測定する場合の測定位置は施工管理記録様式に示すa' b' c' d'とする。
 5.継手部の標準断面は次ページのとおりであり、標準値は図の寸法yである。なお、基準線(に対し)抜け出し側を(+)、入り込み側を(-)とする。また、管理基準値等(のうち)内(数値は、点線で示した形状の管に適用する)。
 6.D形の場合は、受口側と挿口側を各々測定する。

改正後

現 行

第5項 県工事検査基準及び土木工事検査技術基準（標準例）

第5項 県工事検査基準及び土木工事検査技術基準（標準例）

県工事検査基準 【略】

県工事検査基準 【略】

土木工事検査技術基準（標準例）

土木工事検査技術基準（標準例）

1 ～ 4 【略】

1 ～ 4 【略】

別表第1 【略】

別表第1 【略】

別表第2 出来形検査基準

別表第2 出来形検査基準

1 共通工事 ～ 14 ため池工事 【略】

1 共通工事 ～ 14 ため池工事 【略】

別表ア ～ イ 【略】

別表ア ～ イ 【略】

別表ウ 管水路（強化プラスチック複合管）ジョイント間隔規格値

別表ウ 管水路（強化プラスチック複合管）ジョイント間隔規格値

【削る】

(単位：mm)

規 格	J I S A 5350									
	B 形 及 び T 形、C 形				D 形					
	呼び径 (mm)	標準値	規 格 値		標準値	規 格 値				
良質地盤			軟弱地盤	良質地盤		軟弱地盤				
200	0	+33	-33(0)	+22	-22(0)	0	+25	-3	+15	-3
250	0	+33	-33(0)	+22	-22(0)	0	+25	-3	+15	-3
300	0	+38	-38(0)	+25	-25(0)	0	+25	-3	+15	-3
350	0	+38	-38(0)	+25	-25(0)	0	+25	-3	+15	-3
400	0	+43	-43(0)	+28	-28(0)	0	+35	-3	+25	-3
450	0	+43	-43(0)	+28	-28(0)	0	+35	-3	+25	-3
500	0	+53	-52(0)	+35	-34(0)	0	+35	-3	+25	-3
600	0	+53	-52(0)	+35	-34(0)	0	+35	-3	+25	-3
700	0	+53	-52(0)	+35	-34(0)	0	+35	-3	+25	-3
800	0	+53	-52(0)	+35	-34(0)	0	+40	-5	+30	-5
900	0	+53	-52(0)	+35	-34(0)	0	+40	-5	+30	-5
1,000	0	+53	-51(0)	+35	-33(0)	0	+40	-5	+30	-5
1,100	0	+53	-51(0)	+35	-33(0)	0	+40	-5	+30	-5
1,200	0	+53	-51(0)	+35	-33(0)	0	+40	-5	+30	-5
1,350	0	+53	-51(0)	+35	-33(0)	0	+40	-5	+30	-5
1,500	0	+53	-51(0)	+35	-33(0)	0	+45	-5	+35	-5
1,650	0	+80	-77(0)	+53	-50(0)	0	+45	-5	+35	-5
1,800	0	+80	-77(0)	+53	-50(0)	0	+45	-5	+35	-5
2,000	0	+95	-92(0)	+63	-60(0)	0	+45	-5	+35	-5
2,200	0	+95	-92(0)	+63	-60(0)	0	+50	-5	+40	-5
2,400	0	+113	-110(0)	+75	-72(0)	0	+50	-5	+40	-5
2,600	0	+113	-110(0)	+75	-72(0)					
2,800	0	+128	-125(0)	+85	-82(0)					
3,000	0	+128	-125(0)	+85	-82(0)					

改正後

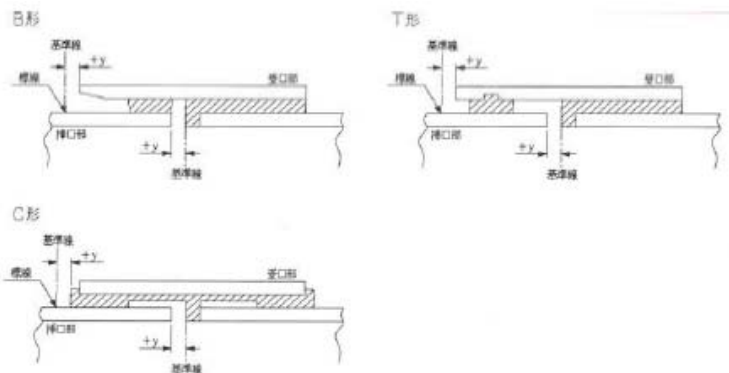
現 行

(単位: mm)

規格	JIS A 5350				
	B形、C形及びT形				
	標準値	規 格 値			
良質地盤		軟弱地盤			
200	0	+33	0	+22	0
250	0	+33	0	+22	0
300	0	+38	0	+25	0
350	0	+38	0	+25	0
400	0	+43	0	+28	0
450	0	+43	0	+28	0
500	0	+53	0	+35	0
600	0	+53	0	+35	0
700	0	+53	0	+35	0
800	0	+53	0	+35	0
900	0	+53	0	+35	0
1,000	0	+53	0	+35	0
1,100	0	+53	0	+35	0
1,200	0	+53	0	+35	0
1,350	0	+53	0	+35	0
1,500	0	+53	0	+35	0
1,650	0	+80	0	+53	0
1,800	0	+80	0	+53	0
2,000	0	+95	0	+63	0
2,200	0	+95	0	+63	0
2,400	0	+113	0	+75	0
2,600	0	+113	0	+75	0
2,800	0	+128	0	+85	0
3,000	0	+128	0	+85	0

注) 1 ~ 2 【略】

【削る】



【新設】

注) 1 ~ 2 【略】

3. ()内の数値は、下図の点線で示した形状の管及びC形継手に適用する。

